

「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」の一部改正と  
平成29年度中小企業者向け契約目標の設定について

平成 29 年 3 月  
経済部地域経済局中小企業課

■ 推進方針の目的

道は、平成15年11月に「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」（以下「推進方針」という。）を定め、物品等の発注に係る契約の締結に当たり、予算の適正な使用に留意するとともに、法令等との整合性を確保しつつ、中小企業者等を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、中小企業者等の育成が地域経済の発展に寄与することに配慮しながら、中小企業者等の受注機会の確保・拡大に努めることとしている。

■ 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための主な措置

○中小企業者等向け契約目標（下記2参照）

区 分	物 品	工 事	役 務	計
平成29年度目標値	72.0	92.8	77.7	89.9

※目標値は、年度当初の段階で決定し、年度途中で前年度実績が確定した段階で必要に応じて修正

- 指名競争における対応 ～指名実績のない道内中小企業者の選定 など
- 一般競争における対応 ～道内に本店を有することなど事業所の所在地に関する地域要件を設定
- 随意契約における対応 ～見積書は地元業者・中小企業者を選定
- 分離・分割発注の推進 ○適正価格による発注に関する配慮
- 中小建設業者に対する配慮 ○官公需適格組合等に対する配慮 等

1 推進方針の一部改正について

◎道内の被災中小企業者等に対する配慮及び雇用情勢に鑑みた記述内容の改正

道は、平成23年度の推進方針改正において、東日本大震災により被災した道内中小企業者等に対する配慮事項を新たに設けたが、昨年8月から9月にかけて発生した大雨等災害により道内中小企業者等が被災した状況も踏まえ、対象をこれまでの東日本大震災で被災した中小企業者等から、大規模自然災害で被災した中小企業者等に拡大する。（推進方針3）

また、本道では、全国に比べ、雇用者に占める非正規労働者の割合が高いほか、年間総労働時間が長く、年次有給休暇の取得率が低いなどの課題があり、道が進める働き方改革の動きを踏まえ、関係する記述を改める。（推進方針4-(7)）

改正後	現 行
<p>3 道内の被災した中小企業者等に対する配慮 東日本大震災はじめ大規模自然災害により被災した道内中小企業者等を支援するため、特に以下の措置を講ずることとする。 (1)～(3) 略</p>	<p>3 道内の被災した中小企業者等に対する配慮 東日本大震災により被災した道内中小企業者等を支援するため、特に以下の措置を講ずることとする。 (1)～(3) 略</p>
<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のため、次の措置を推進するものとする。 (1)～(6) 略 (7) 計画的発注の推進及び労働時間短縮への配慮 物品等の発注に当たっては、できる限り計画的な発注を行うとともに、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得促進等、中小企業者等の労働環境の改善に向けた動きを踏まえ、適正な納期、工期の設定に配慮するものとする。 (8)～(17) 略</p>	<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のため、次の措置を推進するものとする。 (1)～(6) 略 (7) 計画的発注の推進及び労働時間短縮への配慮 物品等の発注に当たっては、できる限り計画的な発注を行うとともに、法定労働時間週40時間制の実施、週休2日制等の動きを踏まえ、適正な納期、工期の設定に配慮するものとする。 (8)～(17) 略</p>

## 2 平成29年度中小企業者等向け契約目標について

### (1) 平成28年度上期実績と分析

#### ア 平成28年度上期実績

(単位：金額ベース、千円)

区 分	物 品	工 事	役 務	合 計
目標値(%)	72.0	92.8	77.7	89.9
実績値(%)	67.8	97.2	84.1	92.7
実績額(千円)	4,563,396	124,982,437	40,108,848	169,654,681

#### イ 要 因

- ・「物品」～ 道内中小企業で取扱いの無い物品（ヘリコプター用機材、運転免許証関係）や医薬品など比較的高額な物品の購入において、道内中小企業以外の者が落札したことなどにより、目標値を下回る。
- ・「工事」～ 高額な契約であった災害復旧事業や帯広警察庁舎新築工事において道内中小企業が受注したことなどにより、目標値を上回る。
- ・「役務」～ 高額な契約であった災害被害に係る調査・設計業務や北海道総合行政情報ネットワーク保守・運用業務において道内中小企業が受注したことなどにより、目標値を上回る。

### (2) 平成29年度契約目標値設定の考え方

平成28年度の上期実績と過去の傾向値を勘案して通期を予測し、平成29年度の目標値を設定。

(単位：金額ベース)

区 分	H28上期	傾向値 (過去5年の傾向)	H28通期予想	H28目標値	H29目標値
物 品	67.8	+ 4.2	72.0	72.0	72.0
工 事	97.2	- 1.5	95.7	92.8	92.8
役 務	84.1	- 1.2	82.9	77.7	77.7
計	92.7			89.9	89.9

※傾向値～通期実績値と上期実績値の差の5年平均

- ・「物 品」～ 下期は契約割合が高くなる傾向にあるものの、H28通期予想が現在の目標値を上回らないことから、H29目標値は据え置きとする。
- ・「工事・役務」～ H28通期予想が現在の目標値を上回るが、8月から9月にかけての大雨等災害からの復旧に係る緊急の工事や調査が多数発生するなど特殊要因があったことから、目標値引き上げは今後の推移を見極めた上で判断することとし、H29目標値は据え置きとする。

### (3) 目標値及び実績値の推移

[北海道]

(単位：金額ベース)

区 分		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28上期
目標値	物品	69.2 →				72.0 →								
	工事	91.3 →				92.8 →								
	役務	77.7 →				77.7 →								
	合計	89.0 →				89.9 →								
実績値	物品	69.4	68.3	71.0	74.3	71.2	71.9	69.7	68.7	67.1	63.2	64.9	66.6	67.8
	工事	90.8	91.7	94.1	94.8	89.5	93.4	94.6	94.9	92.1	94.2	88.9	92.8	97.2
	役務	73.2	68.2	69.2	67.9	66.9	67.8	63.3	66.1	70.2	69.9	71.7	79.1	84.1
	合計	87.6	87.6	89.6	90.6	86.0	89.1	89.3	89.4	87.4	89.3	85.3	88.3	92.7